

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(管理 運営用)

I 基本事項

整理番号 117

事業名	陸の港西淡管理運営事業		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	市長公室			款	総務費・2款
電話	0799 - 43 - 5002			項	総務管理費・1項
				目	まちづくり推進費・6目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり 元気あふれ 住んで快適なまちづくり			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい 育てたいまち(子育て)			
	施策目標	すべての人が安心してまちに出て、日常生活や地域での交流が行える環境をつくる			

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

施設概要	設置目的	対象(誰を・どのような状況の人を)		市民や観光客(高速バス利用者、コミバス利用者など)								
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)		市民や観光客の利便性を高めるため、神戸淡路鳴門自動車道を運行する高速路線バスを有効利用し、駐車場及びバスストップを設置する。らん・らんバス・せい太くんバスの拠点でもある。								
	施設内容	(敷地面積、延床面積、構造、収容人数、駐車台数、付属施設など)										
		施設名称	南あわじ市陸の湊西淡									
		所在地	南あわじ市志知鉦443番地1									
		設置年度	12	年度								
	駐車場(乗用車203台)、バスストップ、待合所施設として管理運営。マイカー利用を控え公共交通機関を利用することにより、パーク&バスライドの設置目的の一つである地球温暖化の防止につながる。											
	稼働状況	(施設の利用状況、稼働状況)										
		高速バスの切符の販売については慶野松原荘が行い販売手数料(約1億円の5%の500万円)を人件費としている。清掃管理委託 3時間/日。										
施設設置根拠法令等		南あわじ市陸の湊西淡条例(平成17年1月11日条例第127条)										
開館時間		午前	5	時	00	分	~	午後	10	時	00	分
休館日		<input type="checkbox"/> 平日		<input type="checkbox"/> 曜日		<input type="checkbox"/> 土曜日		<input type="checkbox"/> 日曜日		<input type="checkbox"/> 祝祭日		
		(その他)										
運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託						
		委託団体		シルバー人材センター、国民宿舎慶野松原荘								
		委託内容		(シルバー)施設開閉、清掃 (松原荘)高速バス切符販売								

Ⅲ Do (管理状況、使用料、投入資源等)

管理手法	(委託業種、作業内容、設備・備品内容、修繕内容など)					
	施設の開閉及び清掃に係る施設管理については、シルバー人材センターに委託している。 また、高速バスの切符販売については、国民休暇村慶野松原荘が請け負っている。					
	施設管理従事職員	市職員	人	委託団体職員	1人 合計 1人	
使用料等	受益者負担について(料金体系、根拠法令など)					
	陸の港各施設の使用料は、無料。 なお、高速バス乗り入れに係るバス会社の施設使用に係る「施設維持管理負担金」は、次のとおりである。 平成18年度実績〔 1,786,900円〕 乗入使用料単価：50円/1回 ・淡路交通㈱ 1,022,000円 ・本四海峡バス㈱ 434,800円 ・みなと観光バス㈱ 330,100円 *なお、公衆電話使用料(H18実績)は、45,100円					
	減免措置(減免内容、根拠法令など)					
資源配分 インプ ト		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費	(千円)	4,452	5,214	3,716	3,651
	施設管理運営費		4,452	5,214	3,716	3,651
	財源	(千円)				
	国					
	県					
	使用料					
	その他		1,715	1,832	1,848	1,831
	一般財源[A]		2,737	3,382	1,868	1,820
	人件費(正規職員)[B]	(千円)	307	299	301	301
	平均人件費(1日当り)		30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)		20	20	20	20
	事業量2(事業に要した人数)		0.5	0.5	0.5	0.5
年間経費([A]+[B])		3,044	3,681	2,169	2,121	
経費に関する 補足説明	消耗品費、光熱水費、修繕費、通信運搬費、清掃委託料、設備保守委託料 外					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
設置目的達成度	成果指標目標値	人	100,000	100,000	120,000	125,000
	成果指標実績値	人	78,044	115,000	119,000	
	目標達成度	%	78.0	115.0	99.2	-
	成果指標	年間利用人数	単位	人		
	指標算出の考え方	年間における利用者数として、駐車場を利用している車両数やコミバス(せい太くんバス、らんらんバス)の利用人数から算出。				
(達成度の分析、問題点・課題などを記入。) 駐車スペースを上回る車が入りし、路肩に止めるケースもある。駐車場の利用率は非常に高い。						自己評価 (5点評価)
						5
効率性	年間経費	千円	3,044	3,681	2,169	2,121
	年間利用者数	人	78,044	115,000	119,000	
	利用者1人当りコスト	千円	0.0	0.0	0.0	-
	延床面積	m ²				
	面積1m ² 当りコスト	千円	-	-	-	-
(施設の効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 利用率が高く、その有効性は非常に高いと考える。 駐車スペースに限りがあり、定期的に放置自動車の撤去により効率性を高める必要がある。 また、駐車台数を確保するため駐車スペースの増設を行う必要がある。 昼間の待合所については必要以上の電気は消す等の工夫をしており、これ以上の経費節減は見込めない。						自己評価 (5点評価)
						4
必要性	行政関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共が設置すべきか、市民ニーズはあるかなどを分析、問題点・課題などを記入。) 公共性・利便性が非常に高い。					
						5
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 放置車両等の撤去も毎年行っているが、減らないのが現状であり、継続する必要がある。また、高速バス利用者以外の駐車場としても利用されているような状況であるため駐車スペースの確保は今後の課題である。					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> <p>達成度</p> <p>5 4 3 2 1 0</p> <p>必要性</p> <p>効率性</p> </div>					

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性及び具体的な改善案	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 現状維持
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)
	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し
	<input type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input type="checkbox"/> 使用料の見直し	<input type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input type="checkbox"/> 使用料の見直し
	<input type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> その他
	駐車スペースの拡大とバス待機場所の設置が必要である。	指定管理者制度を導入することにより、市の経費削減に努める。
見直しにより見直しの期待される効果	<p>駐車スペースを確保することにより利用者の増を図る。 バス待機所を設置することにより、コミバスの接続が便利になる。</p> <p>指定管理者制度を導入することにより、市の支出負担が減少する。</p>	
廃止・委託の影響 (現状維持の場合も記入)	<p>仮に施設を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>高速バスやコミバスの利用者である市民や観光客の対応が出来なくなる。</p>	
	<p>仮に外部委託した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>指定管理者制度を導入することにより、人件費等の削減につながる。</p>	
他の類似施設を持つ自治体の動向等		